

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
運動器・体幹											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小西 裕司			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
外傷を学ぶ上で欠かすことのできない運動器の基礎について学ぶ。											
到達目標											
解剖学をはじめて学ぶ学生のために、体幹を構成する骨・関節・靱帯が身体の中のどの位置にあるかを理解し、それらの関連を整理・配列し、各形態・構造および機能を把握していくことで進行していく。人体の構造と機能が立体的に把握できるようになる。この科目を学ぶことで、体幹の骨の構成・名称・特徴・数・構成する関節などを理解・習得することで、次年度に学ぶ運動器の外傷における知識を身につける。											
授業方法											
教科書を中心としつつ骨模型を用いながら立体的な理解を深めることを意識して授業を進める。前回までの知識の確認を個々の学生へ質問形式で実施する中で、学生自身が将来必要とされる患者への説明技術を向上させることによりinformed consentの能力を育成する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書は「解剖学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。分離骨模型を教材室から準備する。											
回数	授業計画										
第1回	脊柱（役割と構成）										
第2回	椎骨の数と基本的構造（4種7個の突起など）										
第3回	頸椎（環椎の特徴）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
運動器・体幹	
第4回	頚椎（軸椎～隆椎の特徴）
第5回	胸椎・腰椎（固有の特徴）
第6回	仙骨（上端・下端・側面の特徴）
第7回	腰仙移行椎・尾骨・脊柱の生理的弯曲
第8回	脊柱の連結（椎間円板・支持靱帯）
第9回	脊柱の連結（椎間円板・支持靱帯）
第10回	脊柱と頭蓋骨との連結（正中環軸関節と外側環軸関節など）
第11回	胸郭（構成する骨とその数）
第12回	胸骨（各分類と特徴）
第13回	肋骨（各分類と特徴）
第14回	胸郭の連結（胸肋関節と肋椎関節）
第15回	体幹骨の総括と骨格筋総論